

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月

事業所名 かぶと虫Mark 児童発達支援・放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	課題・工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	0	広さはよいが、個別対応しづらい。少人数の時は広すぎる時がある。今後、児童発達支援に特化した設備を整えていく。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	0	0	国の人員配置基準（営業時間中に常に児童指導員2名）は満たした上で、理学療法士等（保育士）も加配している。直接支援スタッフは、常時4～6名配置している。月に一回程度、言語療法士による観察、職員へのアドバイスなどを行なっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	0	車いすの利用者を想定して、設計している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	1	3	0	0	開始前後にミーティングを行なって共有している。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0	5	0	0	自己評価を今年度初めて実施。今後活用し、業務改善に努めていく。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	3	0	2	自己評価を今年度初めて実施。今後活用し、業務改善に努めていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	0	2	第三者機関を設置していない。今後必要に応じて設置を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	0	0	2ヶ月に一回程度社内研修を実施している。外部の研修にも必要に応じて参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	0	決まったアセスメントツールはない。利用者一人一人の個別の支援記録を作成中。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2	0	0	日々の療育の内容について、事前に打ち合わせをして決めている。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	0	0	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	0	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	0	基本的な活動の軸はあるが、子どもに合わせて工夫している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	5	0	0	0	
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	0	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	1	0	利用者一人一人の個別の支援記録を作成中。
18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	0	個別支援計画の計画に沿って、6ヶ月に一回以上のモニタリング、計画の見直しを行なっている。	
19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0	0		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	0	0	ケース会議等に児童発達支援管理責任者が参加している。	
21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	0	1		
22	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1	0	3	医療的ケアが必要な利用者の方の受け入れがこれまでにないため、非該当。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	1	0	3	一年目のため、今後取り組んでいく必要がある。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	0	1	当事業所を退所後、他の障害福祉サービス事業所等への意向をしたケースがないため、非該当。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	0	1	今後必要に応じて検討していく。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	0	1	施設見学は行かせてもらっている。更にフィードバックやスーパーバイズ、研修などの機会を充実させていきたい。 近隣の事業所と定期的に情報共有する機会(連絡会)があり、参加している。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	1	0	
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4	0	1	日々の連絡帳により、利用者の様子について、お伝えするとともに、必要に応じて電話連絡を行うなど、情報共有に努めている。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	0	0	保護者向けの学習会や情報交換の場を検討していきたい。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	1	0	契約時に説明している。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0	1	相談があれば、丁寧に対応するよう心掛けている。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	0	1	不定期でおしゃべり会を開催している。今後、更なる充実が図れるよう内容含め検討していく。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	0	0	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	0	1	月に一回の会報を発行している。また、毎月配布する翌月の利用希望表に行事予定などを載せるようにした。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	1	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	0	
	37	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	0	0	
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	0	
39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	0	1		
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	0	0	
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	0	契約時にやむを得ず身体拘束する場合がある旨については、保護者に口頭で説明をしているが、これまでにそういった事態に迫られたことはない。承諾書についての書類は用意されている。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	0	0	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	0	0	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	0	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	0	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1	0	2	
	総評 入社時に社内で作成したマニュアルなどを読む機会はあるが、ガイドラインや設置基準等についての読み込みはできていなかったため、設問の内容を理解できていないまま回答しているものもあった。また、開所一年目でまだ実施できていないものや事業内容として、設問によっては該当しないものもあったため、来年度以降は設問内容の精査をしてから自己評価を実施する必要がある。利用者評価に貴重な意見が寄せられているため、そちらを参考にさせてもらいながら、更なる支援の充実を図っていきたい。						